

鷗外最後の4年間

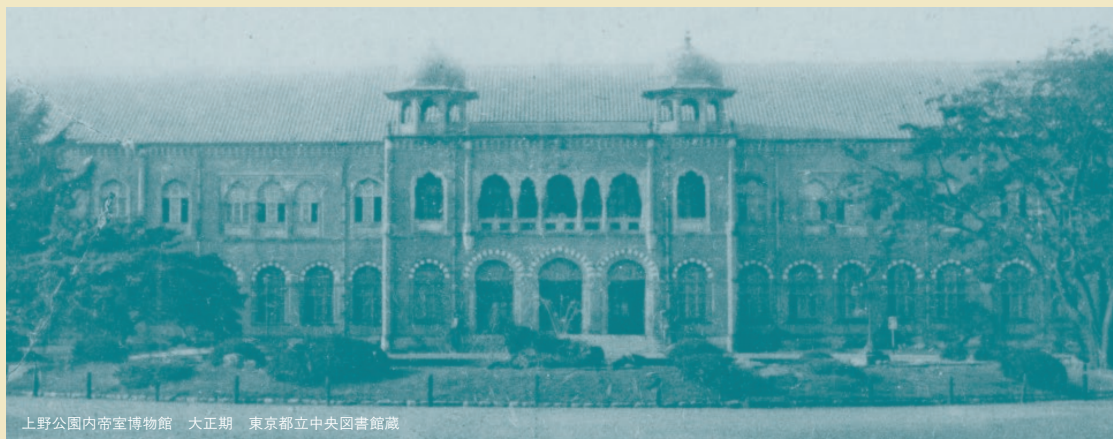
— 帝室博物館総長兼図書頭・森林太郎

2025

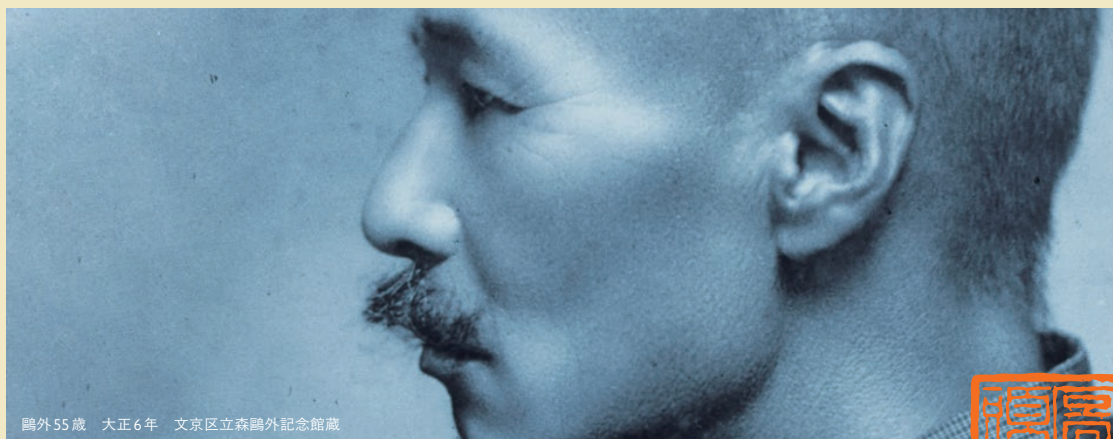
10/11(土)

2026

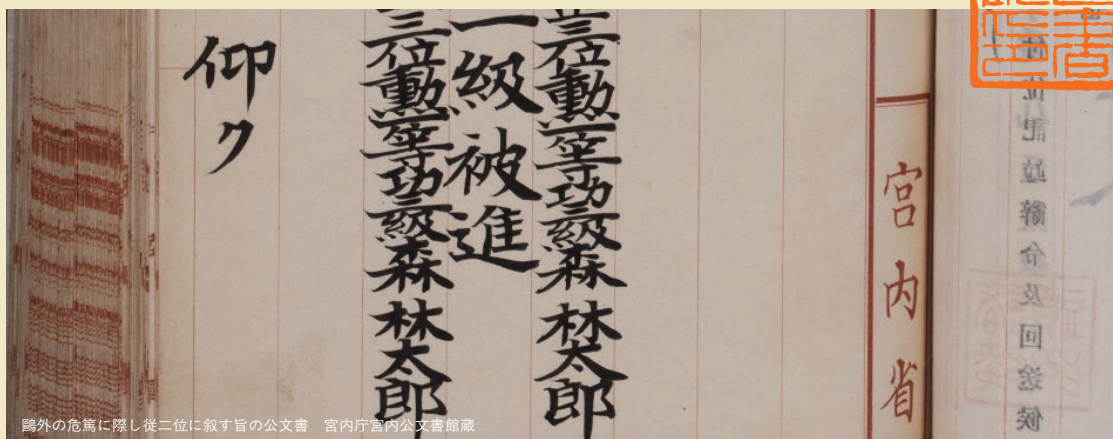
→ 1/12(月・祝)



上野公園内帝室博物館 大正期 東京都立中央図書館蔵



鷗外55歳 大正6年 文京区立森鷗外記念館蔵



鷗外の危篤に際し従二位に叙す旨の公文書 宮内庁宮内公文書館蔵



鷗外が在任期間に携わった公文書類 宮内庁宮内公文書館蔵

《休館日》11/25(火)・12/22(月)・23(火)・29(月)～1/3(土)

《開館時間》10時～18時(最終入館は17時30分) 《会場》文京区立森鷗外記念館 展示室1・2

《観覧料》一般600円(20名以上の団体:480円)

主催:宮内庁宮内公文書館・文京区立森鷗外記念館

出品協力:森鷗外記念館(津和野町)、東京大学総合図書館

◎中学生以下無料、障害者手帳ご提示の方と介護者1名まで無料 ◎文京ふるさと歴史館入館券、パンフレット(押印入)、友の会会員証ご提示で2割引き ◎その他各種割引がございます。詳細は記念館HPをご覧ください。



文京区立
森鷗外記念館
Mori Ogai Memorial Museum

鷗外、最後の4年間

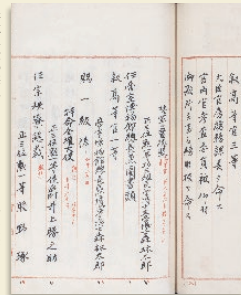
— 皇室博物館総長兼図書頭・森林太郎 —

明治・大正の文学者として知られる森鷗外（本名・森林太郎、1862～1922）は、軍医の最高位である陸軍軍医総監まで務め、大正5（1916）年4月に退任します。ところが、退任から時を経ずして大正6（1917）年12月、鷗外は宮内省の皇室博物館総長兼図書頭に任命されました。

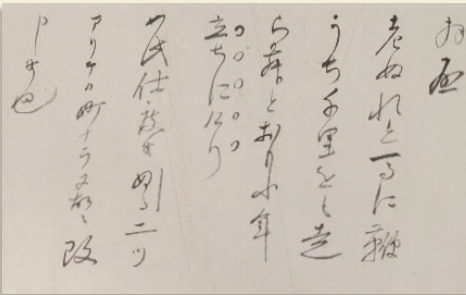
皇室博物館と図書寮の二つの組織の責任者となった鷗外は、上野の東京帝室博物館（現・東京国立博物館）と当時は三年町（現・千代田区霞が関）にあった宮内省図書寮に勤務しました。鷗外は、皇室博物館総長として展示品の時代別陳列、研究紀要の発刊など、同館の運営改善に精力的に取り組めます。また、毎年秋には正倉院の曝涼（虫干し）にも立ち会いました。同時に図書頭としては、皇統譜登録や『天皇皇族実録』の編修、図書寮で保管される古文書や公文書類の管理などに努めました。本展では、皇室博物館総長兼図書頭就任から大正11（1922）年7月に在任のまま没するまでの足跡を、宮内庁宮内公文書館が所蔵する宮内省の公文書類と、文京区立森鷗外記念館が所蔵する原稿・書簡・遺品などから紹介します。官僚として文学者として生涯を歩んだ鷗外の最後の4年間をご覧ください。



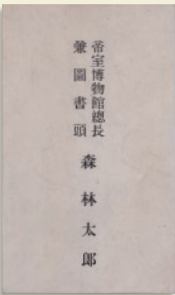
大礼服 森鷗外記念館（津和野町）蔵
宮内高等官用の大礼服。宮中の儀礼で着用したもの。



森林太郎辞令 宮内庁宮内公文書館蔵
鷗外が帝室博物館総長兼図書頭に任じられた際の人事記録。



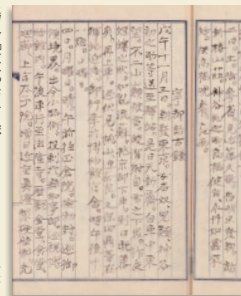
鷗外筆 賀古鶴所宛書簡 大正6年12月30日 文京区立森鷗外記念館蔵
就任後の年末、親友・賀古鶴所に宛てた書簡。「千里をも走らむとおもふ」と心持を詠んでいる。



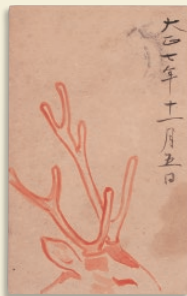
名刺「皇室博物館総長兼図書頭森林太郎」 文京区立森鷗外記念館蔵



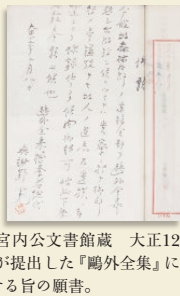
御大礼恩賜銀杯
文京区立森鷗外記念館蔵
大正天皇即位の大礼に列席した記念に賜ったもの。



鷗外「京都訪古録」（委託録より） 文京区立森鷗外記念館蔵
博物館総長就任後に初めて奈良を訪れた際の記録。



鷗外筆 杏奴宛葉書 大正7年11月5日 文京区立森鷗外記念館蔵
奈良から次女に送った葉書。



与謝野寛願書 宮内庁宮内公文書館蔵 大正12年2月に与謝野寛（鉄幹）が提出した『鷗外全集』に『帝鑑考』の採録を希望する旨の願書。

〈講演会①〉

「皇室博物館総長森鷗外と正倉院」

講師 田島良哲氏

〔東京文化財研究所客員研究員〕

日時 10月25日（土）14時～15時30分

申込締切 10月14日（火）必着

◎会場：文京区立森鷗外記念館 2階講座室 ◎定員：50名（事前申込制） ◎料金：無料（参加票と本展観覧券[半券可]が必要）

〈講演会 申込方法〉

●往復はがき

往信に「〇月〇日講演会」・氏名（ふりがな）・住所・電話番号を、返信用には、住所・氏名を明記の上、〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 文京区立森鷗外記念館「展示関連講演会」受付係までご応募ください。

〈講演会②〉

「歴史を記録する鷗外」

講師 村上祐紀氏

〔拓殖大学教授〕

日時 11月22日（土）14時～15時30分

申込締切 11月7日（金）必着

〈スライドトーク①〉

「森鷗外と外崎覚」

講師 毛利拓臣（宮内庁宮内公文書館研究職）

日時 11月3日（月・祝）13時～13時45分

会場 文京区立森鷗外記念館 2階講座室

※申込不要、当日の展示観覧券が必要です。直接講座室へお越しください（開場12時45分）

〈スライドトーク②〉

「森鷗外と旧津和野藩」

講師 篠崎佑太（宮内庁宮内公文書館研究職）

日時 12月6日（土）13時～13時45分

会場 文京区立森鷗外記念館 2階講座室

※申込不要、当日の展示観覧券が必要です。直接講座室へお越しください（開場12時45分）

〈講演会③〉

「一学徒としての皇室博物館総長兼図書頭・鷗外」

講師 須田喜代次氏（大妻女子大学名誉教授、森鷗外記念館（津和野町）館長）

日時 12月13日（土）14時～15時30分

申込締切 11月28日（金）必着

●Eメール

件名に「〇月〇日講演会」、本文に氏名（ふりがな）・電話番号・Eメールを明記の上、bmk-event@moriogai-kinenkan.jpにご応募ください。

※申し込みは、1通につき1名様（お一人様1通まで）、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。※ご不明な点等ございましたら、文京区立森鷗外記念館にお問い合わせください。

〈ギャラリートーク〉

担当学芸員が展示解説を行います。10月29日、11月12日、2026年1月7日 いずれも水曜日14時～（30分程度、展示室にて） ※申込不要、当日の展示観覧券が必要です。

【11月1日（土）は開館記念日】 開館日を記念して、当日は展覧会を観覧された方に、オリジナルポストカードをプレゼントします。

〈交通のご案内〉

【電車】 東京メトロ千代田線「千駄木」駅1番出口徒歩5分／東京メトロ南北線「本駒込」駅1番出口徒歩10分／都営三田線「白山」駅A3番出口徒歩15分／JR線・京成線「日暮里」駅西口徒歩15分

【バス】 都営バス草63番系統「千駄木一丁目」下車徒歩1分／都営バス上58番系統「団子坂下」下車徒歩5分／Bーぐる千駄木・駒込ルート「19特養ホーム千駄木の郷」下車徒歩5分

※一般の駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

文京区立森鷗外記念館

〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 電話：03-3824-5511

URL: <https://moriogai-kinenkan.jp> 【モリキネカフェ】10時30分～17時30分（ラストオーダー17時）

次回展示 コレクション展「鷗外の子どもたち（仮）」 2026（令和8）年1月18日（日）～3月31日（火）予定



記念館 HP

公式 SNS

X (旧 twitter)

@bunkyo_moriogai

Instagram

@moriogai-kinenkan

facebook

moriogai-kinenkan